

入選

親切で超える世界の壁

鳥取県 西中学校

3年 酒井千華

「親切は世界共通である」。

これは、私が初めて海外へ行ったときに学んだことです。今年の夏に、私はオーストラリアへ行きました。海外へ行くことが初めてだった私は、「海外の人って怖くないかな」と先入観があって、とても不安を抱いていました。けれど、そんな気持ちはすぐに吹っ飛ぶことになりました。

オーストラリアに行つてすぐに、スーパーマーケットで買い物をする機会がありました。当然海外での買い物は初めてだったので、商品を探すのも一苦勞でした。ようやく商品を見つけてセルフレジで会計をしていたとき、途中でまったくやり方が分からなくなってしまったのです。周りに頼れる人もおらず、「どうしよう」と立ち尽くしていたとき、隣で会計をしていたおばあさんが優しく話しかけてくれました。

最初こそ驚いたけれど、ゆっくり丁寧に教えてくれるおばあさんの姿を見て、とても温かい気持ちになりました。不安だらけの海外だったけれど、少し気持ちが和らいでほっとしたのを覚えています。

また、オーストラリアにいる間、ホームステイも経験しました。緊張していた私を、ホストファミリーの人たちはとても明るく歓迎してくれました。会話の中で単語が聞き取れなかったときに、理解できるまで何回も繰り返してくれました。言葉が詰まってしまったときも、言いたいことを推測してくれたり、言葉が出てくるまで待ってくれたりしました。分からないこともたくさんあったけれど、一つひとつ親身になって教えてくれました。親切はこんなにも人を嬉しくさせるのだと、改めて心の中に刻まれました。

親切には、人種や言語の壁を越える力がある。そう、オーストラリアでの経験を通して実感しました。外国から来た私にどこまでも丁寧に、親切に接してくれた現地の人たち。本当の家族のように、優しくしてくれたホストファミリーの人たち。たくさんの人々と、言葉ではなくて心で通じ合うことができました。言葉が伝わらなくても、異なる環境で育ったとしても、相手を思いやる気持ちは世界共通だと気づきました。

そして、今までの自分の生活を振り返ってみました。自分の親切が相手に拒まれたらどうしよう、とずっと勇気を出せなかった……。そんな自分を、とてもちっぽけな存在だと感じました。でも同時に、「ああ、私もこんなふうに誰かに寄り添ってあげたい」と心から思うことができました。

前述したように、親切は世界中の人々の壁を越える力があります。いうなれば、人と人を繋ぐ架け橋のようなものです。私は親切の力が秘める可能性を信じて、これからは自信を持っていきたいと思います。

そして、誰かのために勇気を出してがんばれる、そんな人になりたいです。